

学習状況診断票（理科） 小学校 第5学年

5年組 番氏名

領域	問題番号			出題のねらい	評価の観点			
	大問	小問	通番		科学的思考	技能・表現	知識・理解	
A 生物とその環境	1	1	1	発芽の条件について、結果を比較して考えることができる。				
		2	2	水があるときだけ、インゲンマメが発芽するという結果から、発芽するためには水が必要なことを考えることができる。				
		3	3	発芽の条件について、仮説をもとにして実験を計画することができる。				
	2	1	4	インゲン豆の種子の発芽前と後の変化の様子がわかっている。				
		2	5	発芽前後のインゲン豆の種子にヨウ素液をつけた時の結果がわかっている。				
		3	6	実験結果から、種子の中の養分が発芽のために使われていると考えることができる。				
	3	1	7	ヘチマの花のめしべがどの部分かわかっている。				
		2	8	実験結果から、めしべの先に花粉がつくことでヘチマの実がではじめることを考えることができる。				
		3 (1)	9	けんび鏡の安全で正しい使い方が身に付いている。				
		3 (2)	10	けんび鏡の手際よい使い方が身に付いている。				
	4 選択	A	1	11	メダカの卵の様子の変化がわかっている。			
			2	12	メダカは、卵から養分をとり入れて成長することがわかっている。			
		B	1	11	お母さんのおなかの中にいる赤ちゃんの様子の変化がわかっている。			
2			12	赤ちゃんは「へそのお」から養分をとり入れて成長することがわかっている。				
B エネルギー	1	13	くぎぬきを使ってくぎをぬくときの適切な使い方がわかっている。					
	2	14	くぎぬきを使うときの手ごたえの変化について、てこを使って調べる実験を計画することができる。					
	5	3	15	てこを使った実験から、支点から力点までのきよりが長いほど、加える力は小さくなることを考えることができる。				
		4	16	てこをかたむけるはたらきが同じになるときのきまりがわかっている。				
		5	17	身の回りのてこのはたらきを使った道具がわかっている。				
C 地球と宇宙	6	1	18	気温のはかり方が身に付いている。				
		2	19	気温をはかった結果をグラフで表すことができる。				
		3	20	2つのグラフを比較して、気温の変化の違いを言葉で表すことができる。				
		4	21	一日の気温の変化と天気と関係付けて考えることができる。				
	7	1	22	流水のはたらきによって、流れが曲がっているところの内側と外側の地面の変化がわかっている。				
		2	23	流れが曲がるところの内側と外側では、水の流れる速さがちがうことがわかっている。				
		3	24	水の流れる量と流水のはたらきの大きさの関係を調べるための実験を計画することができる。				
		4	25	大雨によって川岸がけずられることを、水の量や地面をけずるはたらきの変化と関係付けて考えることができる。				

/ 7 / 8 / 10

今後の学習に向けて 自分ががんばりたいところに を付けたり、下線を引いたりしましょう。

「科学的な思考」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>発芽の条件についてきまりを見つけるために、そろえる条件と変える条件をはっきりさせて、結果を考えましょう。</li> <li>てこは、左右のうでの「おもりの数」×「支点からのきより」が同じとき、つり合うというきまりを使って、てこがつり合うときの「おもりの数」と「支点からのきより」を考えましょう。</li> <li>晴れの日と雨や曇りの日は1日の気温の変化が大きく、雨や曇りの日は1日の気温の変化が小さいことをもとに、気温の変化の記録からその日の天気を考えましょう。また、毎日、新聞の天気予報などを見て天気と気温について考えましょう。</li> <li>土のしゃ面をつくって水を流したときのようすを調べるとき、実際の川のようにどこがにているのか、たくさん見つけてみましょう。</li> <li>家庭でも、実際の川を見て、災害をふせぐためにどことなくふうがされているか考えたり、図書館で調べたりしてみましょう。</li> </ul>
「観察・実験の技能・表現」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>発芽の条件についてのきまりを予想して、その予想が正しいか調べる方法を自分なりに考えてみましょう。</li> <li>けんび鏡を正しく使うことができるよう、教科書で確かめながら、自分から進んで使ってみましょう。</li> <li>グラフをかくときは、必ず測定した値を点ではっきりと示すようにしましょう。</li> <li>家庭でも、けんび鏡を安全に、使うためにはどんなことに気をつければよいか、じっくりと教科書を読んでノートに整理してまとめてみましょう。</li> </ul>
「知識・理解」の力を身に付けるために	<ul style="list-style-type: none"> <li>発芽による種子の変化や、受粉による花の変化、受精後の受精卵の変化のようすについて、文章で説明できるようにしておきましょう。</li> <li>てこをかたむけるはたらきについてのきまりを、支点、支点からの距離、といったことばを使って、図や文章で説明できるようにしましょう。</li> <li>実際に花粉がどう運ばれているか、てこのはたらきがどんなところに利用されているか、ということを考えながら身の回りの自然やものを見てみましょう。</li> <li>理科の学習でわかったしくみなどが、毎日の生活の中にないか気をつけて見て、見つけたことを友だちや先生に話したり日記に書いたりしましょう。</li> </ul>